

かたの



平成22年
12 / 1

市議会だより

議会ニュース

市議会の新しい体制がスタート



本会議場



就任のごあいさつ 議長 稲田美津子

平成22年第4回議会定例会において、第40代交野市議会議長に就任いたしました。浅学菲才ではありますが、誠心誠意努めてまいりますので、温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

目次

- 2 議会ニュース
- 3-6 一般質問
- 6-7 委員会審査のあらまし
- 8 議会で決めたこと

議会新役員を選出 市議会の新しい体制がスタート

議長に稲田美津子議員（自由民主党）、副議長に三浦美代子議員（公明党）
監査委員（議会選出）に坂本顕議員（市民かがやきクラブ）が就任

本会議の動き

第4回議会定例会

今議会は、9月29日に開会し、初日は閉会中に開催された特別委員会の経過報告が行われた後、「大阪広域水道企業団の設置に関する協議について」他1議案を満場一致で可決しました。

30日からは、議会の新役員の選出が行われました。議長・副議長の選挙を皮切りに、議会選出監査委員や各委員会委員、派遣議員などを選出し、10月1日には新体制（下表）での運営がスタートしました。

1日からは本格的な議案審議が始まり、4件の人事案件を適任・同意した後、5件の報告を受けました。続いて、1件の専決処分事項報告を承認し、「22年度交野市老人保健特別会計補正予算（第1号）」を満場

一致で可決しました。

次に、21年度の一般会計他6特別会計の決算の審査のため、決算特別委員会が設置され、各決算を付託することを決めました。他にも、「交野市総合計画基本構想について」他2議案を総務文教常任委員会に、「21年度交野市水道事業会計決算認定について」他3議案を都市環境福祉常任委員会に付託しました。

15日～19日には、市政全般に対する一般質問を行いました。

最終21日は、決算特別委員会及び2常任委員会から付託案件の審査報告が行われ、各決算及び議案第52・53号が閉会中の継続審査となり、他議案は満場一致で可決しました。

最後に意見書7本を可決し、今議会は閉会しました。

■議会役員と各委員会委員（◎は委員長、○は副委員長）

議長：稲田美津子	副議長：三浦美代子	監査委員（議会選出）：坂本 顕
議会運営委員会	◎谷巖・○友井健二・堀憲治・野口陽輔・新雅人・中上さち子	
総務文教常任委員会	◎吉坂泰彦・○友井健二・堀憲治・野口陽輔・坂本顕・三浦美代子・栗原俊子・皿海ふみ・坂野光雄	
都市環境福祉常任委員会	◎新雅人・○黒田実・谷巖・岩本健之亮・浅田耕一・前波艶子・中上さち子・稲田美津子	
環境対策特別委員会	◎黒田実・○坂本顕・岩本健之亮・浅田耕一・前波艶子・中上さち子・坂野光雄	
行財政対策特別委員会	◎堀憲治・○野口陽輔・谷巖・吉坂泰彦・新雅人・友井健二・栗原俊子・皿海ふみ	
議会改革特別委員会	◎稲田美津子・○三浦美代子・堀憲治・谷巖・坂本顕・新雅人・友井健二・中上さち子	
広報特別委員会	◎三浦美代子・○野口陽輔・堀憲治・友井健二・栗原俊子・皿海ふみ	

■議会選出の派遣議員・委員

【四條畷市交野市清掃施設組合議会議員】野口陽輔・谷巖・黒田実・友井健二・栗原俊子・皿海ふみ 【北河内4市リサイクル施設組合議会議員】浅田耕一・前波艶子 【交野市農業委員会委員】堀憲治 【東部大阪治水対策促進議会協議会委員】吉坂泰彦・新雅人・中上さち子 【片町線複線化促進期成同盟会委員】栗原俊子・前波艶子 【北河内地域広域行政圏計画審議会委員】黒田実・吉坂泰彦・中上さち子 【交野市山地対策協議会委員】野口陽輔・坂本顕・岩本健之亮・友井健二・浅田耕一・皿海ふみ・稲田美津子 【淀川左岸流域下水道整備促進期成同盟会委員】堀憲治・黒田実・新雅人・坂野光雄 【交野市都市計画審議会委員】堀憲治・黒田実・新雅人・前波艶子・皿海ふみ 【交野市総合計画審議会委員】野口陽輔・友井健二・栗原俊子・坂野光雄・稲田美津子

公明党

友井 健二・岩本健之亮
新 雅人・三浦美代子

小中学校にエアコン設置を

ほか

問 小中学校のエアコン設置の取り組みは。

答 本年、第三中学校の一部教室に設置し、来年度に残りの教室と他の中学校すべてに設置完了予定。小学校はまだ方向性は示されていない。

問 近年の猛暑を考えると小学校への設置も早急に取り組むべきではないか。

答 喫緊の課題と捉え、財源の確保や来年度施工が可



第三中学校に設置されたエアコン

能か財政担当に検討を指示したところである。

問 第2次財政健全化計画で給食センターの建て替えは凍結とされたが、安全管理の面から今後建設の考えは。

答 国が21年度に学校給食衛生管理基準を改定したことから、一刻も早い時期に、この基準に準拠した施設を整備していきたい。凍結されたものの課題などについて整備検討を行うなど、今後も取り組みを進めたい。

問 学校のトイレの洋式化率が低いと思うが取り組みは。

答 洋式トイレは現在22%で、充足とは思っていない。現在耐震化を進めており、今後の改修事業として検討していきたい。

第2次財政健全化計画について

問 21年度の健全化判断比率の数値の報告を受け、第2次財政健全化計画の見直しは。

答 現行計画を着実に実施する必要があると考えている。

問 土地開発公社の第3次健全化計画について。

答 5年間で35億円の事業費を投入し、財源として起債が確保できるものを優先として、第3次計画を策定し、来年度から実施する。

問 市においても、市民にわかりやすい予算書の作成に取り組んでいただきたいがどうか。

答 来年度の当初予算より、新たな資料を渡せるよう作業を進める。

福祉行政について

問 子宮頸がん予防ワクチンは、市が助成事業をすれば国は補助を行うと表明しているが市の考えは。またヒブワクチンについては。

答 総合的な子宮頸がん予防対策を検討しつつ、助成額についても市の財政状況を見ながら十分検討する。また、ヒブワクチンについても同様に、国の動向を注視し、市の財政も勘案しながら十分検討する。

問 がん検診受診率向上のため、休日検診の開催、半日ドックのアピール等検討すべきでは。

答 壮年期の方の受診率も低く、さまざまに検討し、受診率向上を目指す。

問 妊婦健診の助成額は府下で最も低いレベルであるが、市の考えは。

答 来年度に向けて前向きに検討する。

救急情報キットについて

問 救急情報キットは希望者全員に配布すべきと考えるが。

答 市として一定のルール、統一的な取り組みが大事と考えるので、今後とも調査をしていきたい。

教育行政について

会派無所属 前波 艶子

学習指導要領が大きく改訂された。これによると、総授業時数と学習内容が10%程度増加となるが、カリキュラム上、授業時間を増加させた対応では、小学校低学年からほぼ毎日6時間授業となり、子どもたちの負担が増えるだけでなく、学校行事等の時間を確保することが困難になる。当然、行事の精選も必要であるが、子どもたちの負担の軽減や学校行事における時間を確保するためには、夏期休業日の見直しを行い、授業日数を確保することも視野に入れなければならない。その場合、学習環境の改善も必要となる。未来を担う子どもたちのよりよい学習環境を確保するためにも各小中学校のクーラー設置を要望する。

自由民主党

堀 憲治
稲田美津子

安心・安全なまちづくりについて

問 本市の出生率は、大阪府、国と比較してどのような状況か。

答 人口1千人単位で、20年度は84で、大阪府の90、全国87と比較するとやや低い状況である。大阪府下の出生率では、本市は26位である。

問 本市の出生率は、大阪府及び国と比較しても低くなっているが、出生率を上げるために、どのような取り組みを行っているのか。

答 保健分野では、妊娠されることとマタニティー教室の案内などを行い、妊婦健診の費用助成により妊婦の健康管理の充実と経済的費用の軽減を図っている。出生後は、新生児訪問など、孤立した子育てにならないよ

した活動紹介集を作成し、閉じこもり防止と社会参加の推進に努めている。課題としては、同一住所における世帯分離などで、ひとり暮らし高齢者の把握が難しいことが挙げられる。

問 児童虐待が確認された場合、どのような対応をしているのか。

答 担任等が児童虐待を認めた場合、校長、教頭に報告し、管理職から指導課、社会福祉課並びに府家庭児童相談室に連絡が入る。その後、指導課、府家庭児童相談室によるケース会議を適宜開催し、当該児童生徒への見守り、保護者に対する働きかけ等について継続的に話し合いを持ち、子どもの安全を第一に考えた対応をしている。

問 市道のバリアフリー化が不十分であると考えるが、どのように対応しているのか。

答 20年度と22年度の3カ年計画で174カ所を整備する



段差解消を施した歩道

事業を実施している。21年度までに128カ所を整備し、本年度は残りの46カ所を整備予定である。今後においても予算の範囲内で整備に努めていきたい。

問 来年度から交通専従員が廃止されるが、児童の登下校の安全をどのように確保するのか。

答 校長会において、安全教育の一層の推進と、各校PTAに対し、登下校時の児童の安全確保のための活動について理解と協力を得るよう依頼している。

環境にやさしいまちづくりについて

会派無所属 浅田 耕一

市長自ら表明されている「動の3期」を現実のものとするためには、限られた予算を適正に実施すべき各施策へ配分されなければならない。特に「環境都市交野」を目指す上では、環境問題に対する施策展開は、大いに期待が寄せられている。その施策の1つとして雨水利用も有効なものと考えられる。この雨水利用は、植物などへの散水や打ち水といったエコの効果があるだけでなく、ゲリラ豪雨時の下水道への流出抑制といった治水対策、更には災害時に一時的な生活用水としての利用といった様々な用途があげられ、その利用価値は高い。市としてこの点に着眼し各家庭における雨水利用の促進を進められることを望む。

日本共産党

坂野 光雄・中上さち子
皿海 ふみ

ゆうゆうバスの3台復活を
ほか

問 9月からゆうゆうバスが2台に削減されて、10月13日までに87人が積み残しされている。積み残しの方への対応はどうか。

答 迎えの車は出していない。その方がどうされたのかの調査もしていない。

問 行殿団地（私部8丁目）のバス停がなくなり、外出をやめた方がいる。他



倉治・郡津コースのゆうゆうバス

にも多くのバス停が廃止されたが近隣住民の意向調査は行ったのか。

答 意向調査は行わず、ゆうゆうバス検討会議で決定した。

問 昨年9月と削減された今年9月の乗客数を比べると、倉治・郡津コースが49%減、星田コースが38%減している。原因は何か。

答 利用者を限定し、乗車バスを発行したため。

要望 ゆうゆうバス削減で、高齢者や障がい者の外出機会を奪っている。財政的にも復活は可能であり、3台への復活を強く求める。

交通専従員について

問 市は、来年4月から交通専従員を廃止し、「子どもを見守る新たな仕組みを

作る」としているが、どのような仕組みなのか。

答 保護者を中心に、学校、教育委員会が連携し、地域の協力を得ていく。

意見 これまで地域や保護者との協議も進んでいない。地域の体制が十分整うまで、交通専従員を継続し、保護者や地域の合意を得ながら、丁寧に体制づくりをすすめるべきである。

学校にクーラー設置を

問 学校のクーラー設置は切実な課題である。市長は来年度、小学校にも設置を検討するとしているが。

答 現在、財政当局で検討中である。

意見 児童の健康、学習環境上、どうしても来年度の設置が必要である。

子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチン
接種に公費助成を

問 重症化や死に至る感染症ヒブ・小児肺炎球菌ワクチンに次ぎ、子宮頸がんワクチンが承認された。しかし高額なためワクチン接種

は進んでいない。市は公費助成すべきと考えるが。

答 ワクチン接種でウイルス感染が防止される事や、普及国の子どものもずい膜炎患者が90%減少した事など、ワクチンの有効性や予防効果は認識している。また、接種への市民要請が強い事も承知している。財政事情もあり、国の動向を注視し、十分検討したい。

意見 ワクチン促進への国の動きとして、厚労省「子宮頸がん予防事業」・国「3ワクチン無料化促進対策」案がある。いずれも市町村の負担を伴う補助事業である。市民の福祉向上を果たすべく、市はワクチン接種に公費助成を実施すべきである。

その他の質問

- 一、夏休みの学校プール開放について
- 一、エアコン設置など、低所得者への熱中症対策
- 一、就学援助金支給月を新学期に改善
- 一、保育所のアレルギー食への対応

ゆうゆうバスについて

会派無所属 栗原 俊子

問 9月からゆうゆうバスが3分の2以下に減便され、特に倉治郡津コースは、積み残しや恒常的な遅れがあり、京阪バスへの乗り継ぎができず、困る人が出ているが。

答 倉治郡津線は2コースを1コースに統合したので利用者が多く、車いす利用の方等で、定期運行に支障が出ています。3カ月程様子を見て微調整を図りたい。

要望 微調整では抜本的解決にならない。バス利用者は圧倒的に高齢者の方が多く、お元気に暮らして頂くには、市民活動や行事に自由に参加されることが重要である。移動手段の確保に、福祉の枠や担当所管の縦割を越え、民間バスとの連携でコミュニティバスの検討を要望する。

市民かがやき クラブ

吉坂 泰彦・谷 巖
黒田 実・坂本 顕
野口 陽輔

七夕を生かした

まちづくりについて ほか

問 市長はマニフェストや所信表明で、七夕伝説を生かしたまちづくりを進めたいと述べた。これは私たちがかねてから主張してきたもので、大いに歓迎するものであるが、どのような戦略で推進するのか。

答 来年度は市制施行40周年であり、これを活用できないかと考えている。具体的な展開のため、検討の場を設け、11月の公募に向けて準備を進めている。

問 観光行政としては、どのような施策を展開しようとしているのか。

答 婚活や子どもたちの職業体験などを考えているが、もちろん行政だけでなく、ハード面で何かを作る



アンテナショップ(ほしだ園地内)

というのは非常に難しく、ストーリー性を持ったものやロマンという形で打ち出し、していかなければならない。そのため、市民のアイディアや知恵を借りて、交野の魅力を全国に発信していきたい。

問 今年9月に設置されたアンテナショップを応用し、駅の売店などで交野物

産コーナーを設置すれば、コストをかけずに他地域からの訪問客にPRできるのではないかと。

答 ご指摘のとおりであり、市内各駅での物産販売も関係団体と十分協議したい。また、市の公共施設においてもアンテナショップの機能を持たせられないか検討をしたい。

問 今後、自治体にとって人口獲得競争の時代だといわれている。婚活に関連して、居住100人という人口増を期待する数値目標を掲げているが、七夕伝説を通じた取り組みでどのように定住人口を増加させるのか。

答 居住100人は、人口を直接100人増やすとしたものではないが、交野で出会い、暮らしていただくことは非常に大事なことでありと考えている。毎月7日を出会いの日と位置づけ、イベントを展開することも一つの考えであり、そこで結婚に至らずとも、目標を掲げる

学校のトイレについて

ことで一定の効果が期待できると考えている。また、定住のためには、子育てや教育環境の充実、住民のつながり、労働環境などが大事であるとともに、住んで心地良いと思える環境が必要で、交野の自然は大きな強みであると考えている。

問 先日、第一中学校の保護者からの要望でトイレの現状について視察を行ったが、扉が歪んでいたりと、なかつたり、床が水浸しであったりと、これではきれいに使っていこうとするような意識を醸成することはできないと考えるが。

答 トイレの改修については、学校からの要望により年次的または、随時行っている。学校の耐震化も目途が立ってきたので、国庫補助対象の大規模改修事業として、できるだけ早期に改修改善の年次計画を作成したいと考えている。

委員会審査のあらまし

決算特別委員会

(10月6日)

21年度の一般会計決算と6特別会計決算を審査するため、議員提出議案にて設置されました。委員及び付託議案は次の通り。

- ▼委員長 吉坂泰彦、副委員長 友井健二、委員 堀憲治、野口陽輔、坂本 顕、新雅人、栗原俊子、皿海ふみ、坂野光雄
- ▼付託議案 議案第44号、50号
- ▼結果 閉会中継続審査

環境対策特別委員会

(9月10日)

第二京阪道路開通後の状況調査のため、専用部、一般部及び周辺道路の実走行と環境監視施設の視察を行いました。

総務文教常任委員会（10月6日）
 総合計画基本構想などを閉会中継続審査に

議案第52号 総合計画基本構想

▼概要 23年度～34年度を期間とする第四次総合計画基本構想であり、みんなの、かたの、基本構想として交野にかかわるみんなが期待感を共有して、自らが主体的に交野

とのつながりの中で暮らしを営んでいくために作成するもの。

▼結果 閉会中継続審査

議案第53号 基本構想条例の制定

▼概要 予定されている地方自治法の改正では、基

本構想制定の義務化が外される見込みであるため、基本構想の法的担保を市自ら定めるもの。

▼結果 閉会中継続審査

議案第57号 22年度一般会計補正予算（第2号）

▼概要 各種補助事業の実施や補助金の清算に伴う国への返還金など。主な事業は、保育所緊急等整備事業（ふじが丘保育園

の増設）や地域ICT利活用広域連携事業など。

▼主な質疑 他市では安心子ども基金特別対策事業費補助金を利用して大型絵本や幼稚園の図書を購入し、貸し出しをしているが。

▼結果 可決（満場一致）

議案第60号 22年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

▼概要 図書購入については、場所の問題や貸し出し方法が難しいと判断し、採用に至らなかった。

▼結果 可決（満場一致）

議会改革特別委員会
 （7月13日・30日・8月19日・9月7日）

「議員提案の条例の取り扱い」、「議会報告会」について審査を行った結果、議員間で意見交換や情報交換、政策立案の協議及び調整を行う政策検討会を設置することなどを決め、議長に答申しました。

都市環境福祉常任委員会（10月6日）

21年度水道事業決算を認定

議案第51号 21年度水道事業決算認定

▼主な質疑

問 新浄水場建設工事の入札参加基準には府の基準にある地元加算が設定されず、基準が高くなっているのでは。

答 同工事には高い技術力が必要であり、基準を高くした。市内業者は加算しても基準未満で、地元加算を設定しなかった。

▼結果 認定（満場一致）

議案第56号 市道の廃止及び認定

▼概要 第二京阪道路の開通に伴う廃止及び認定。

▼結果 可決（満場一致）

議案第58号 22年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

▼概要 特定検診で要受診となったが3カ月以上受診していない人などを対象にした訪問健康相談。

▼主な質疑

問 相談後の健康管理やケアはどうなるのか。

答 関係部署や医療機関でフォローする。

▼結果 可決（満場一致）

議案第60号 22年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

▼概要 グループホーム1箇所、スプリンクラー設置の補助を行うもの。

▼主な質疑

問 事業者の持ち出しが発生した場合、市は不足分も補助を行うのか。

答 過去からそのような補助は行っていない。

▼結果 可決（満場一致）

広報特別委員会
 （7月14日・8月9日）

「8月1日発行の議会だより」、「インターネットでの議会中継」について審査を行った結果、誰でも簡単にリアルタイム放送を提供できるインターネットサービスである「ユーストリム」を利用し、本会議の中継を行うべきなどとして、議長に答申しました。

平成22年第4回議会定例会（9月29日～10月21日）

案 件 名		本会議結果
	交野市議会議長辞職の件について	許可
選1号	交野市議会議長の選挙について	当選
	交野市議会副議長辞職の件について	許可
選2号	交野市議会副議長の選挙について	当選
議61号	監査委員の選任について	同意
	交野市議会運営委員会委員の選任について	選任
	交野市議会常任委員会委員の選任について	選任
	交野市議会特別委員会委員の選任について	選任
選3号	北河内4市リサイクル施設組合議会議員の選挙について	当選
選4号	四條畷市交野市清掃施設組合議会議員の選挙について	当選
	交野市農業委員会委員の推薦について	推薦
	議会選出の派遣委員の選任について	選任
	議席の変更	決定
諮3号	人権擁護委員の推薦について	適任◎
諮4号	人権擁護委員の推薦について	適任◎
報11号	専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	報告
報12号	専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	報告
報13号	平成21年度交野市健全化判断比率の報告について	報告
報14号	平成21年度交野市下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	報告
報15号	平成21年度交野市水道事業会計資金不足比率の報告について	報告
議41号	専決処分事項報告について（交野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）	承認◎
議42号	教育委員会委員の任命について	同意◎
議43号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意◎
議員18号	決算特別委員会の設置について	可決◎
議44号	平成21年度交野市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議45号	平成21年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議46号	平成21年度交野市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議47号	平成21年度交野市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議48号	平成21年度交野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議49号	平成21年度交野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議50号	平成21年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議51号	平成21年度交野市水道事業会計決算認定について	認定◎
議52号	交野市総合計画基本構想について	継続審査
議53号	交野市基本構想条例の制定について	継続審査
議54号	交野市火災予防条例の一部を改正する条例について	可決◎
議55号	大阪広域水道企業団の設置に関する協議について	可決◎
議56号	市道の廃止及び認定について	可決◎
議57号	平成22年度交野市一般会計補正予算（第2号）について	可決◎
議58号	平成22年度交野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決◎
議59号	平成22年度交野市老人保健特別会計補正予算（第1号）について	可決◎
議60号	平成22年度交野市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決◎
議員19号	「戦没者等の妻に対する特別給付金支給法」の時効撤廃を求める意見書の提出について	可決◎
議員20号	口蹄疫被害の復興支援と再発防止を求める意見書の提出について	可決◎
議員21号	21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書の提出について	可決○
議員22号	家電エコポイント制度の再延長並びに住宅エコポイントの延長を求める意見書の提出について	可決◎
議員23号	子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書の提出について	可決○
議員24号	抜本的な赤潮対策と被害への救済措置を求める意見書の提出について	可決◎
議員25号	大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の一日も早い解決の決断を国に求める意見書の提出について	可決◎

※選は選挙、議は議案、諮は諮問、報は報告、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しく下さい
～第5回議会定例会の予定～

11月30日（火） 本会議
12月13日（月）～15日（水） 本会議（一般質問）
12月20日（月） 本会議（委員長報告・採決）